





## はじめに

みなさんのくらす小牧市こまきしのまんなかにある  
おおきなお山やまをみたことがあるでしょう？

お山やまの名前は「こまき山やま」とって、むかしむかし  
織田信長おだのぶながが「こまき山城やまじょう」という石いしの城しろをつくって  
おおきな夢ゆめへのチャレンジぼしよをはじめた場所ばしよなのです。

みなさんにも小牧市こまきしでおおきな夢ゆめをみつけてほしい。  
チャレンジぼしよして行ってほしい。

そして、その夢ゆめをここでくらすみんなおうえんで応援おうえんしていきたい。

小牧市こまきしはそんな場所ばしよになりたい。  
という思おもいでこの絵本えほんはつくられました。





にほん という くにの

あいち けんの

こまき という

まちの ちゅうしんに

こまき<sup>やま</sup>山 という

おすもうさんが いました



こまき山<sup>やま</sup>の 夢<sup>ゆめ</sup>は

「せかいで いちばん

つよい おすもうさん」

に なること

夢<sup>ゆめ</sup>に むかって がんばる

こまき山<sup>やま</sup>の ことが

こまきの 人<sup>ひと</sup>たちは

だいすきでした





あるひ こまき山<sup>やま</sup> は  
 きゅうしゅうの「あそ<sup>やま</sup>の山」に  
 ちょうせん しました



... が  
 もくもくと ふんかする  
 「あそ<sup>やま</sup>の山」に  
 まけて しまいます

それで <sup>ゆめ</sup>夢を あきらめる

こまき山<sup>やま</sup>では ありません

こまきの <sup>ひと</sup>人たちも

がんばる こまき山<sup>やま</sup>を

おうえん しました

「**どすこまき!どすこまき!**」





つぎに こまき山は

にほんで いちばん おおきな

「びわのみず海」に ちょうせん しました

たくさんの こまきの 人たちが

がんばる こまき山を おうえん します

「どすこまき！どすこまき！」



・・・が

おおきな「びわのみず海」にも

かないません でした



それでも <sup>ゆめ</sup>夢を あきらめる

こまき山<sup>やま</sup>では ありません

もっと もっと たくさんの

こまきの <sup>ひと</sup>人たちが

がんばる こまき山<sup>やま</sup>を

おうえん しました

「どすこまきっ!どすこまきっ!!」





みんなの おうえんに  
こたえたい こまき山<sup>やま</sup>は  
にほんいちの おすもうさん  
「ふじの山<sup>やま</sup>」に ちょうせん しました

そうすれば  
つよくなる ほうほうが  
わかる きが したのです



・・・が

やっぱり こまき山<sup>やま</sup>は  
まけて しまいます

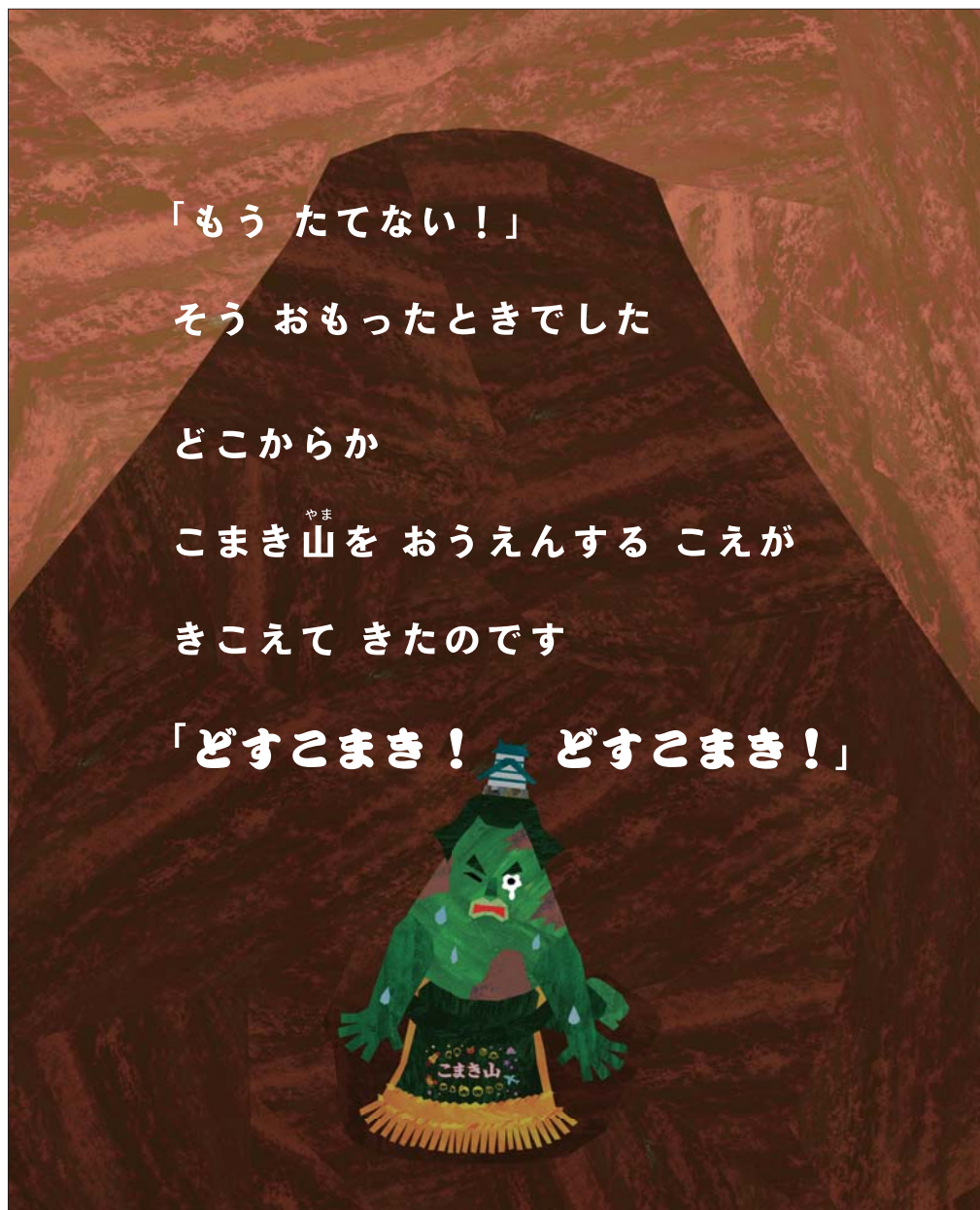
それでも なんども なんども

あきらめる ことなく

ふじの山<sup>やま</sup>に むかって 行きました







「もう たてない！」

そう おもったときでした

どこからか

こまき山<sup>やま</sup>を おうえんする こえが

きこえて きたのです

「どすこまき！ どすこまき！」

こえは どんどん

おおきく おおきくになって いきます

「どすこまきっ！どすこまきっっ!!」

そのこえは

こまき山<sup>やま</sup>に もういちど たちあがる

ちからを くれました

それは

とても とても たくさんの

こまきの <sup>ひと</sup>人たちの こえ でした



たちあがった こまき山<sup>やま</sup>に

ふじの山<sup>やま</sup>は いいました

「きみは ほんとうに たくさんの人<sup>ひと</sup>から

おうえん されているんだね

その おうえんは これからも

きみの ちからに なるだろう

そして 夢<sup>ゆめ</sup>にむかって あきらめずに

ちょうせん しつづける きみは

もっと もっと つよくなる」



「それに ほら <sup>ゆめ</sup>夢をあきらめない  
きみをみて こまきの こどもたちも  
<sup>ゆめ</sup>夢に ちょうせん しつづける ことの  
たいせつさを まなんだ ようだよ」



「もっともっとつよくなったら  
また ちょうせんにおいで  
わたしは いつでも まっているよ」  
ふじの山やまは にっこりと  
ほほえみました





ふじの山<sup>やま</sup>から 夢<sup>ゆめ</sup>に チャレンジ

しつづける こと<sup>たいせつ</sup>の 大切さを

おしえて もらった こまき山<sup>やま</sup>は

いつか 夢<sup>ゆめ</sup>を かなえられる ように

がんばろうと おもいました

そして これからは

じぶんが して もらったように

こどもたちの 夢<sup>ゆめ</sup>への ちょうせんを

こまきの 人<sup>ひと</sup>たちと いっしょに

おうえん して いきたいと

おもったのです



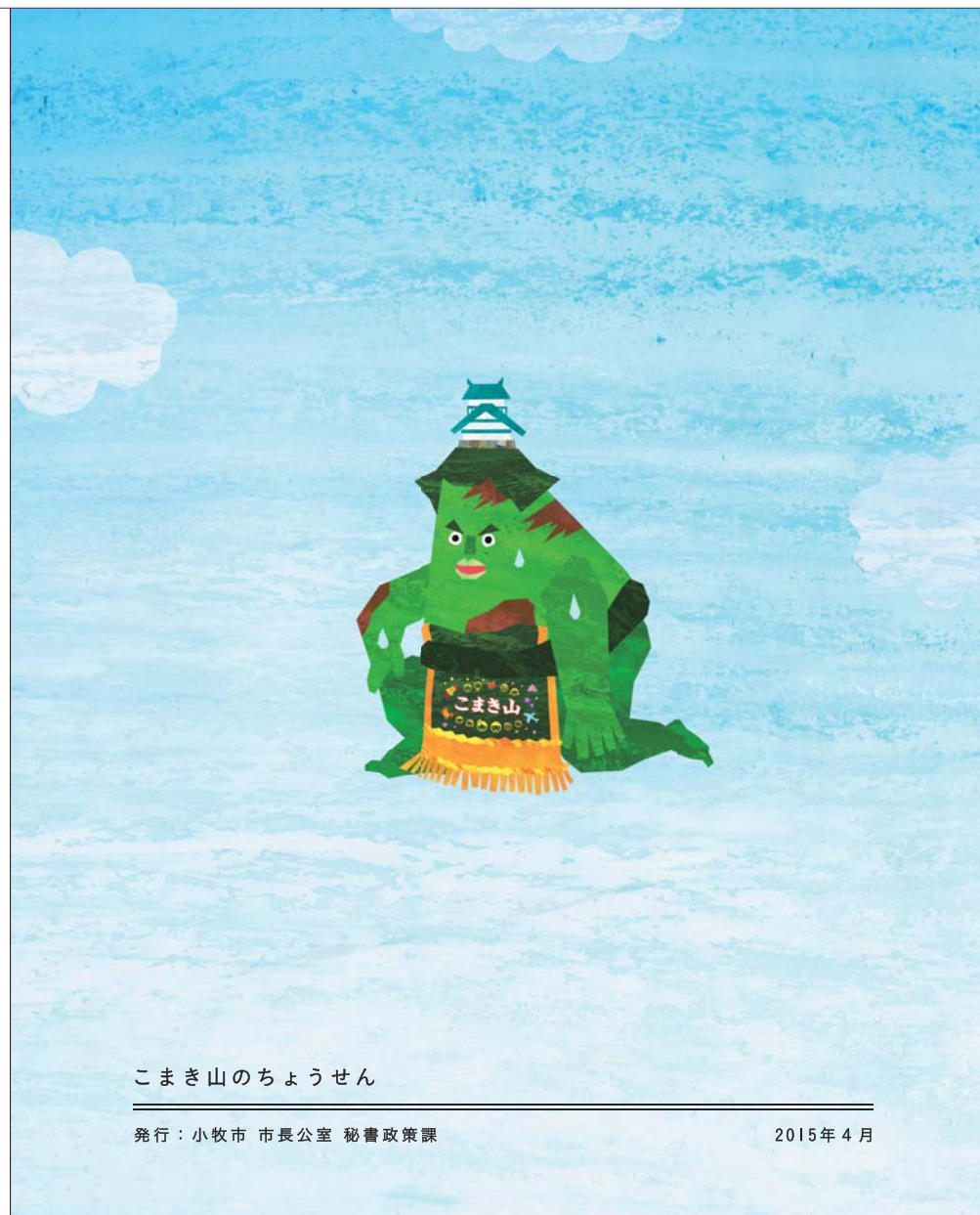


こうして <sup>やま</sup>こまき山の あたらしい  
ちょうせんは つづいて いきます



・・・が

その おはなしは またの おたのしみ



こまき山のちょうせん

発行：小牧市 市長公室 秘書政策課

2015年4月